

多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究

—地域持続のために—

2019年

宮間 純一

中央大学文学部 人文社会学科 准教授

共同研究者

太田 尚宏      清水 裕介      西村 慎太郎

保坂 一房      松尾 正人      吉岡 拓

多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究  
—地域持続のために—

2019年4月

代表研究者 宮間純一

共同研究者 太田尚宏 清水裕介 西村慎太郎  
保坂一房 松尾正人 吉岡拓

## 目 次

要旨	2
はじめに	3
1. 研究組織	3
2. 活動の記録	5
3. 研究の概要	7
3-1. 多摩の地域持続とアーカイブズ	
3-2. 多摩地域におけるこれまでの取り組み	
3-3. 本研究の課題と方法	
①規模	
②方法	
4. 得られた成果と展望	12
4-1. 成果	
4-2. 展望	
註	14
主要参考文献	16
多摩川流域地域における民間アーカイブズ所在状況	19
シンポジウム関係資料	35

## 要 旨

本研究では、多摩川流域地域における歴史的文書の所在情報を収集し、共有化するための基礎作業を行った。近年、大規模災害が相次いで発生し被災地域に危機的状況をもたらしている。一方で、高度経済成長期以来の地域社会の衰退、人口減少等によって「地方消滅」が現実味を帯びてきた。その中で、地域の歴史を記録した文書も散逸の危機に直面している。これを受けて、歴史資料に携わる人びとはそうした文書を救い出し、保全し、継承してゆくための取り組みを一層本格化させてきた。また、保存するだけでなく、地域社会の歴史的資源であるアーカイブズを「地域持続」のために活用することも模索されている。

このような動向をふまえて、本研究では、各自治体が刊行する古文書目録などから多摩川流域地域における歴史的文書の所在情報を可能な限り収集し、今後の活用のための基盤構築に取り組んだ。調査の過程では、いくつかの未整理文書群も発見し、それらの整理にもあたった。さらに、いかなる保存・活用が望ましいのかを議論するために、シンポジウムを開催して地域の研究者・専門職らと意見交換を行った。

## はじめに

本報告書は、2017年4月より2019年3月までの2年間にわたって公益財団法人とうきゅう環境財団より受けた「多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究助成金（学術研究）」による研究活動の成果報告書である。

同研究では、多摩川流域地域に所在する博物館・資料館等の資料保存機関及び民間で保管されているアーカイブズ（歴史的文書）の所在情報を共有化するための基礎的な作業を行った。

以下に研究組織、活動の記録、研究の概要を記す。

### 1. 研究組織（所属等はいずれも2019年3月現在）

#### ・代表研究者

宮間純一（中央大学文学部・准教授）

\*2017年度は人間文化研究機構国文学研究資料館・准教授、2018年度より現職

#### ・共同研究者（50音順、以下すべて敬称略）

太田 尚宏（人間文化研究機構国文学研究資料館・准教授）

清水 裕介（渋沢史料館・学芸員）

西村慎太郎（人間文化研究機構国文学研究資料館・准教授）

保坂 一房（公益財団法人たましん地域文化財団歴史資料室・室長）

松尾 正人（中央大学・名誉教授）

吉岡 拓（恵泉女学園大学人文学部・特任助教）

#### ・その他の研究協力者（50音順）

伊藤 匠（中央大学大学院生）

牛米 努（税務大学校税務情報センター（租税史料室）・研究調査員）

江口 真由（駒澤大学大学院生）

大銃地駿佑（中央大学学部生）

柏原 洋太（千葉県文書館行政文書資料課・主事）

篠崎 佑太（宮内庁書陵部・研究員）  
心光 康子（一橋大学大学院生）  
鈴木 祥（中央大学文学部・兼任講師）  
添田 仁（茨城大学人文学部・准教授）  
高野 宏峰（中央大学大学院生）  
多田 仁一（中央大学文学部・特任教授）  
戸出 晴香（中央大学大学院生）  
成瀬真之介（中央大学学部生）  
蛭田 廣一（元小平市中央図書館・館長）

・協力（各 50 音順）

（機関）

五日市郷土館

茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク

NPO 法人共同保存図書館・多摩

奥多摩水と緑のふれあい館

公益財団法人たましん地域文化財団

多摩信用金庫

東京都三多摩公立博物館協議会

人間文化研究機構国文学研究資料館

（個人）

加藤 勝康

津雲 薫

羽生 謙五

平泉 清

## 2.活動の記録

研究期間全体にわたって、代表研究者の所属機関（人間文化研究機構国文学研究資料館、中央大学文学部）にて資料情報の収集を行った。また、必要に応じて出張調査を実施した。加えて、共同研究者や関連分野の研究者と情報共有・意見交換を行うための研究会を適宜開催した。

研究期間の最終月（2019年3月）には、成果報告のためのシンポジウムを開催した。

（括弧内は参加者）

主な活動記録は以下の通りである。

2017年7月22日

第1回研究会開催

於国文学研究資料館会議室

報告 宮間純一「多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究」について（岩立将史、太田尚宏、心光康子、篠崎佑太、高野宏峰、戸出晴香、西村慎太郎、保坂一房、松尾正人、宮間純一、吉岡拓）

2017年9月17・18日

青梅市津雲家文書の調査・撮影（牛米努、太田尚宏、柏原洋太、篠崎佑太、清水裕介、心光康子、鈴木祥、高野宏峰、多田仁一、戸出晴香、西村慎太郎、松尾正人、宮間純一、吉岡拓）

2018年2月22日

日の出町羽生家文書の概要調査（清水裕介、宮間純一）

2018年3月1日

五日市郷土館にて石川家文書ほかの閲覧（清水裕介、宮間純一）

2018年3月5日

奥多摩水と緑のふれあい館における聞き取り調査（清水裕介、心光康子、戸出晴香、宮間

純一)

2018年6月17日

日の出町羽生家文書の概要調査(清水裕介、宮間純一)

2018年8月18日

第2回研究会開催

於中央大学多摩キャンパス3号館

報告1 宮間純一「津雲家文書の概要と今後の進め方」

報告2 篠崎佑太「蜂須賀茂韶書簡と「明治30年文部省紛擾」」

報告3 高野宏峰「史料紹介「吉井幸輔宛広沢兵助書簡、会津征討のため東山道・北陸道の戦略につき」

(岩立将史、篠崎佑太、鈴木祥、高野宏峰、多田仁一、戸出晴香、保坂一房、松尾正人、宮間純一)

2018年10月28日

日の出町羽生家文書の調査・整理(牛米努、江口真由、大銃地駿佑、篠崎佑太、高野宏峰、多田仁一、戸出晴香、成瀬真之介、保坂一房、宮間純一)

2018年11月8日

第3回研究会開催

於中央大学多摩キャンパス3号館

研究報告書作成に向けての打ち合わせ(清水裕介、宮間純一)

2018年11月23日

第4回研究会開催

於中央大学多摩キャンパス3号館

シンポジウム開催に向けての打ち合わせ(清水裕介、添田仁、西村慎太郎、蛭田廣一、保坂一房、宮間純一)

2019年3月10日



シンポジウム 多摩の地域持続をめざした歴史資料の保存と活用 \*別添資料参照

於 Win センター・たましん事業支援センター

主催：「とうきゅう環境財団多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究—地域持続のために—」（公益財団法人とうきゅう環境財団: 2017 年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究助成金、代表研究者：宮間純一）

共催：多摩信用金庫、公益財団法人たましん地域文化財団、国文学研究資料館基幹研究「アーカイブズと地域持続に関する研究」（研究代表者：渡辺浩一）

後援：東京都三多摩公立博物館協議会、NPO 法人共同保存図書館・多摩、茨城文化財・歴史資料救済・保存ネットワーク

内容：報告 1 宮間純一 多摩における資料保存と地域持続

報告 2 蛭田廣一 図書館における資料保存の取り組み

報告 3 西村慎太郎 西多摩郡檜原村における歴史資料保全と資源化の実践・課題

報告 4 添田仁 洪水で被災した歴史資料を文化資源に

—2015 年 9 月関東・東北豪雨—

コメント 保坂一房

質疑応答・討論 進行（清水裕介）

参加者：60 名

### 3. 研究の概要

#### 3-1. 多摩の地域持続とアーカイブズ

敗戦後、地域資料\*1 散逸の危機と歴史学の学問的要請を背景に、歴史研究者が中心となって「史料保存運動」が展開した\*2。1951 年に文部省史料館が開館し、地方自治体においても 1959 年の山口県文書館を嚆矢として文書館施設が設置されてきた。現在までに、その担い手や活動の目的・内容は変化してきたが、地域資料を未来へつなぐための営みは途絶えることなく続いてきている。

「史料保存運動」が展開する中で、アーカイブズは出所である地域にて保存・利用されるのが理想的な姿であるとの理念が共有され、資料の「現地保存」が原則となった\*3。しかしながら、日本の場合、近世・近代文書を中心とした多数の地域資料が民間に散在しているのに対して、市区町村単位での文書館施設の設置が遅れている。博物館・資料館等が

存在する自治体においても人員・収蔵スペースに限りがあり、必ずしも受け皿とはなりえていない。そのため、「現地保存」を徹底しようとするれば、所蔵者にそのまま保管を委ねるケースが必然的に多くなる\*4。

地域資料の永続的な保存を目指すうえで、上記のような従来型の「現地保存」主義はもはや限界を迎えている。高度経済成長期以後、地域社会の弱体化・解体が進行したが、とりわけ 2000 年代に入って人口減少や住民の高齢化等が加速し「地方消滅」が現実のものとなってきた。これは、すなわち従来地域資料を保管してきた<家>（旧名主家などの資料所蔵者）が失われつつあることを示している。保管者を喪失し、資料館等の行き場も存在しない文書群は、散逸するか、廃棄される運命にある。

また、近年頻発している大規模災害も地域の存立を脅かすと同時に、資料にも深刻なダメージを与えた。<故郷>が大きな傷を負い、地域の足跡を証明する文化財が滅失するのを目の当たりにしたことで<郷土史>の意義の見直しが行われている\*5。おのずと、<郷土史>と背中合わせの関係にある資料の価値が改めて喚起されることになった。

以上のように、地域の衰退や相次ぐ災害によって地域資料保全のあり方・考え方が、大きな変化を遂げつつある。このようなまったなしの状況のもとで、いかに地域のアーカイブズを未来へつないでゆくかをめぐって、資料保存に携わる専門職・行政職・市民と協力しながらアーカイブズ学、歴史学などの諸分野で議論・実践が重ねられている。

その中では、文化財として地域資料をただやみくもに保存してゆくのではなく、それらを公文書とあわせて地域持続のための資源として活用する、地域社会に還元する必要性が提起されてきた\*6。過去を明らかにするための材料としてだけ、地域資料に価値を見出すのではない。現在あるいは未来の住民のために資料を保存・活用し、地域社会の軌跡を記したアーカイブズを、地域アイデンティティを支えるためのよりどころの一つにしようという志向である。現在は、それを実現するための具体的な方法論を模索している段階にあるが、「地方消滅」という切迫した課題に対してアーカイブズの保存・活用は有効な処方箋になりうる、との議論・実践が説得力をもってなされている\*7。

多摩川流域地域もこうした話題と無縁ではない。西多摩地域では、すでに人口減少が始まっており、奥多摩町・檜原村は過疎地域に指定されている。多摩地域全体でみても 2020 年をピークとして本格的な人口減少・少子高齢社会に突入すると予測されている\*8。そうした中、地域持続／地域振興のために文化資源を活用しようとする自治体の動きも見られる。たとえば奥多摩町が策定した「過疎地域自立促進計画」では有形・無形の文化財の保

存・活用が謳われている\*9。

また、多摩川は歴史的に大小の氾濫を繰り返してきた。大規模なものでは、1974年9月に発生した台風とともに洪水で沿岸の民家が流出するなどの被害が出ている。つまり、多摩川流域はどこでも起こりうる地震災害などに加えて、水害のリスクも想定しうる地域なのである。

散逸・廃棄・消失の危機から地域資料を守るためには、未然に関係機関同士のネットワークや資料所蔵者との連絡体制を整備しておくことに加えて、資料に関する情報を収集・集約・共有しておくことが肝要となる。日本では、阪神・淡路大震災を契機に被災文化財のレスキューが本格的になったが、活動にあたってきた人びとの努力により、そのノウハウが蓄積されてきた。そこで再三指摘されていることの一つが、レスキューすべき地域資料がどこに、どのような状態で存在しているのか、あらかじめ把握しておくことの必要性である。

しかしながら、多摩川流域地域においては民間資料に関する所在情報の把握・集約・共有化が万全ではない。そこで、本研究では地域社会の持続をめざして、不完全ながらも多摩川流域地域に所在する民間資料に関する情報を資料目録などの刊行物を中心に収集し、将来的なデータ共有化の第一歩とすることを課題とした。

### 3-2. 多摩地域におけるこれまでの取り組み

本研究は、多摩川流域地域をフィールドとしているが、ここではその内の大きな割合を占める多摩地域における資料保存のあゆみをごく簡単に紹介しておきたい。詳細は、別の機会に改めて整理する。

敗戦後、多摩地域でも資料保存のための営みは着実に重ねられてきた。もっとも早いのは、1950年代から開始した東京都による文化財調査である。この事業の一環で多摩地域の文化財に関する調査が行われた。建造物や民俗資料等とあわせて古文書の所在調査が実施されている。成果物として刊行された『東京都文化財調査報告書』は、戦後のあり様を伝えてくれる貴重な記録である。しかしながら、悉皆調査ではないことに加えて、報告書の刊行から長期間を経過した現在の状況がわかるわけではない。

1970年代に多摩地域の市町村で図書館が次々に建設されると、図書館を中心に「郷土の資料」が収集されるようになる。以後、各自治体の図書館が地域資料収集に大きな役割を果たしたことは多摩地域の特徴である\*10。1975年には、多摩地域の「郷土資料」担当者が

意見・情報の交換を行い、各館の「郷土資料」の充実をめざす三多摩郷土資料研究会（1999年に三多摩地域資料研究会に改称。以下、三資研）が発足した。三資研は、多摩地域の「史料保存運動」史において主役に位置づけられる団体の一つであり、現在も中核的な役割を担っている\*11。三資研は、1986年・1996年・2005年・2016年の四度、多摩地域の公立図書館における地域資料（1986年調査時は「郷土資料」と呼称、1996年時は「郷土資料」と「地域資料」を併記）に係る業務の実態調査を行っている。その報告書は、各館の業務・活動等を一覧できるものであり、本研究を進めるうえでも参考となる成果である\*12。

博物館・資料館・美術館においても連携が図られ、1978年に東京都三多摩公立博物館協議会（以下、三博協）が組織されている。当然のことながら、地域資料を保有しているのは図書館だけではなく、博物館・資料館・美術館も各自治体にて地域資料保存の拠点としての役割を果たしてきた。2014年、国文学研究資料館は、太田尚宏を中心に三博協の協力を得て多摩地域の博物館等の施設を対象に民間資料に関するアンケート調査を行った。その結果によれば、館内外の地域資料を網羅的に把握できている館は約2割程度にとどまる。また、緊急時に救済の対象となる館外資料は登録済みの文化財に限定され、民間に所在している数多くのアーカイブズにはほとんど手が及ばないことが明らかにされた\*13。学芸員の業務の多忙化、人員・予算の削減、収蔵スペースの飽和などにより、博物館等だけでは地域資料を守るための対応が困難なのが実情である。

他方で、自治体史編纂に付随するかたちで民間所在資料の悉皆調査が行われてきた。1950年代後半から高度経済成長期にかけて多摩地域の各自治体で自治体史（誌）の編纂がさかんとなる。1990年前後には、ほとんどの自治体が編纂事業を終えた。その過程では、1987年の公文書館法の制定や全国的な地方史研究の動向もあいまって自治体史への期待にも変化が生じ、歴史叙述を最優先する姿勢から地域資料の発掘や事業終了後の市民への資料公開を重視する声が大きくなる\*14。しかしながら、一部の自治体をのぞき、自治体史の編纂完了後も文書館施設は設置されないままである\*15。現在も、立川市・羽村市・府中市などで新たな自治体史の編纂事業が行われており、今後の動向を注視したい。

公的な事業のほかに、民間における地域資料保存の取り組みが目立つことも多摩地域の特色である。たとえば、公益財団法人たましん地域文化財団が設置する歴史資料室では地域資料を収集し一般に公開してきた\*16。また、多摩中央信用金庫（現多摩信用金庫）が1975年に発行を開始し、現在も定期刊行している『多摩のあゆみ』は研究史上で存在感を放つだけでなく、市民に資料の意義を発信する場としての役割も果たしてきた。

2006年に設立されたNPO共同保存図書館・多摩（現特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩、通称多摩デポ）の活動にも一言だけふれておきたい。同団体は、市町村立図書館で除籍された資料を集めて共同保存するために設立されたが、その活動の範囲は図書資料に限らず、広く地域資料にまで及んでいる\*17。

ここでは整理しきれないが、地域資料に向き合ってきた民間団体は他にも存在する。図書館や博物館・資料館・美術館、行政ならびに民間団体が、それぞれに地域資料の保全に取り組んできたのが多摩地域の実態である。

### 3-3.本研究の課題と方法

上記のような、先人たちの努力と営みによって多摩の地域資料は今日に伝えられてきた。しかしながら、民間アーカイブズのサーベイと共有化は、大きな課題として残されている。多摩川の流域地域という本研究の範囲で見れば、そのような試みは現在まで見当たらない。

特に大きな課題の一つに、行政区分を超えた資料情報の共有化を実現してゆくことがあると考えられる。自治体史編纂等の行政が主体となる事業ではやむを得ないことではあるが、市町村単位での情報把握が行われたとしても、それが広く共有化されていない。各自治体・施設・民間団体ごとに集積されているデータを可能な限り集め、共有化し、地域持続のためにアーカイブズを活用する基盤づくりがまず必要とされる。

そこで本研究では、その小さな足がかりとすべく以下のような方法で調査・研究活動を計画した。

#### ①規模

調査・研究の範囲は、多摩川流域地域及び人口減少が進んでいる奥多摩町・檜原村全域を主とした。河川氾濫の直接的被害を受ける可能性がなくとも、周辺地域で災害の影響を受ける可能性がある場所で保管されているアーカイブズは臨機応変に対象に加えた。対象が広範囲にわたるため、研究期間のみで完全を期すことは困難であるが、できうる限り調査にあたった。

#### ②方法

本調査・研究の基礎は、1. 文書目録・自治体史等からの基礎データ収集、2. 1で収集したデータに基づく所蔵機関・個人への照会、3. 2の作業で得た返答を勘案して現地調査の実施、4. データの集約・公開からなる。

1 では、資料目録などの刊行物等を用いてアーカイブズの所在情報や概要、数量等の基礎データをエクセルで入力する。2 では、1 で作成したデータに基づき必要が生じた場合には各機関・所蔵者に問い合わせを行う。3 では、各機関・所蔵者の回答から必要だと判断された場合、現地調査を実施する。調査の結果、個人所蔵文書のうち、特に重要だと思われる未整理文書群を発見した場合は、大まかな整理と現状記録、主な文書の撮影、最低限の保存処置を行う。4 では、報告書を刊行し、将来的に国文学研究資料館にデータを提供して、データベースの更新等に利用していただく。

## 4.得られた成果と展望

### 4-1.成果

本研究では、多摩川流域地域に所在する 300 を超える文書群の民間所在アーカイブズに関する情報を収集し、順次データ入力を行ってきた。記述した項目は、文書群名、番号・記号、年代幅、主年代、点数、出所、旧蔵者、履歴、内容、現所在地、収蔵機関、収蔵形態、出典、記述者、備考、記述日である。原則、資料目録等の出典の記述に従ったが、解題が付いていないものや長文にわたるものは、適宜補足・要約した。入力作業にあたっては、伊藤匠・心光康子・戸出晴香の多大なる協力を得た。

本報告書には、個人情報や情報の精度の問題から収集したデータのすべてを載せることはできないので、項目・情報を限定・圧縮し、現状で把握できている民間所在アーカイブズの一覧を後掲した。

なお、膨大な全データのうち、奥多摩町・檜原村・国立市・世田谷区・稲城市に範囲を限って、別途報告書を刊行した（『多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究―地域持続のために―』2019年3月31日刊行、多摩地域の図書館等に配布済）。

今後作業を継続し、データを補訂・整理した上で将来的にすべてのデータを国文学研究資料館に提供し、同館が運用している「史料所在情報データベース」の更新等に活かしていただきたいと考えている。データベースについては、同館のホームページ等を直接参照されたい。

加えて、本研究の大きな成果といえるのは、多摩川流域地域の歴史を知る上で重要な未整理の文書群に出会えたことである。日の出町に所在する羽生家文書は、同家の生業のみ

ならず、地域のあゆみを知る上で貴重な存在といえる。近世文書のうち主だった文書は、日の町史編纂の際に整理され、目録が作成されているが、近世文書の一部と明治期以降の数千点以上の文書群は手付かずのまま同家に眠っていた。また、青梅市の津雲家に伝来した文書も調査させていただいた。同文書群は、政治家であった津雲国利（1893~1972）が収集した資料群で必ずしも地域資料とはいえないが、政治史研究上有用な文書群であり、未来へ伝えていくべきアーカイブズである。同文書群の一部は、東京都青梅市住江町の津雲邸にて展示形式で公開されている。展示情報については、津雲邸のホームページを確認していただきたい。

#### 4-2.展望

最後に今後の展望を述べてむすびにかえたい。

先述したとおり、本研究は多摩川流域地域さらには多摩地域におけるアーカイブズ情報を集約・共有化するための第一歩である。いまだ把握できていない文書群・情報も少なからずある。また、研究期間内に捕捉できたデータに関して更新してゆくことも必要である。そのほかにも課題は山積しているが以下に3点を挙げる。

第一に、ネットワークの構築である。多摩地域における資料保存の歴史を振り返ればわかるように、各自治体・施設・団体などがそれぞれ資料保存に取り組んできた。それが奏功してきたことも確かであるが、一方で各々の立場を貫通した情報共有が難しくなっているのも否定できない。本研究は、多摩地域で研究活動を始めて日が浅い代表研究者を中心とした小規模なグループであり、手探りで進めてきた面もあったため、体制づくりの提言までには踏み込めなかったが、先人たちの営みや既存のあり方を尊重するかたちでよりよい方法が模索できないか、今後検討していきたい。この点については、2019年3月10日に実施したシンポジウムでの話題となった。シンポジウムの成果は、別途活字化を予定している。

第二に、公文書を含む調査である。民間アーカイブズだけでなく公文書も当然に重要な地域資料である。調査の過程において一部の自治体に問い合わせたところ、戦前期に作成された行政文書の所在が把握されていないこと、歴史的公文書の管理体制が構築されていない自治体があることが確認された。民間アーカイブズと同じく公文書に関する情報も洗い出していく必要がある。

第三に、個別の未整理文書群の調査である。本調査において存在が確認された文書群に

関しては、引き続き調査・研究を行う。研究期間内では、概要調査を行うのが精いっぱいであった。1点ごとの目録作成および文書群の構造把握が、アーカイブズ活用の大前提であり、所蔵者・周囲の方のご協力を得て調査を続けていきたい。

他にも課題はあるが、現場で地域資料の保存に携わってきた方々と対話しながら、この営みが地域資料保存と地域持続の一助となるよう、引き続き活動を継続していきたい。

## 註

\*1 本報告書中において「資料」や「地域資料」という場合は、主に文字による文書資料を指す。

\*2 「史料保存運動」の展開は、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編『日本の文書館運動—全史料協の20年—』（岩田書院、1996年）など参照。

\*3 高野修「地域社会と文書館」（『藤沢市文書館紀要』13、1990年）など参照。

\*4 この点について、佐藤正広「史料保存における現地主義について」（『茅ヶ崎市史研究』15、1990年）は、「史料を滅失の危機から救う」ためには、原理主義的な「現地保存」とはならず、現実的な調整を行う必要性を示唆している。

\*5 平川新「歴史資料を千年後まで残すために」（奥村弘編『歴史文化を大災害から守る』東京大学出版会、2014年）、白井哲哉「地域の記録と記憶と問い直す意義—郷土史の再評価とともに—」（白井哲哉・須田努編『地域の記録と記憶を問い直す—武州山の根地域の19世紀—』八木書店、2016年）。

\*6 西村慎太郎・加藤聖文・渡辺浩一「人命環境アーカイブズの過去・現在・未来に関する双方向的研究」（小池淳一ほか編『新しい地域文化研究の可能性を求めて』1、人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」、2017年）、国文学研究資料館編『社会変容と民間アーカイブズ—地域の持続へ向けて—』（勉誠出版、2017年）、白井哲哉『災害アーカイブ—資料の救出から地域への還元まで—』（東京堂出版、2019年）など。

\*7 ただし、ともすると歴史資料の安易な観光資源化によって、資料の消費・消耗招く危険性もある。文化財保護法の改正にかかわる動向などとともに留意しなくてはならない。

\*8 東京都ホームページ [http://www.soumu.metro.tokyo.jp/05gyousei/sinkou/tama\\_shinkouplan/tamaplan05.pdf#search=%27%E5%A4%9A%E6%91%A9+%E4%BA%BA%E5%8F%A3%27](http://www.soumu.metro.tokyo.jp/05gyousei/sinkou/tama_shinkouplan/tamaplan05.pdf#search=%27%E5%A4%9A%E6%91%A9+%E4%BA%BA%E5%8F%A3%27) (2019年1月22日閲覧、以下URLはすべて同じ)。



- \*9 奥多摩町ホームページ [http://www.town.okutama.tokyo.jp/gyose/sesaku/documents/kasojiritu\\_sokusin.pdf](http://www.town.okutama.tokyo.jp/gyose/sesaku/documents/kasojiritu_sokusin.pdf)。
- \*10 平山恵三・蛭田廣一『現在を生きる地域資料—利用する側・提供する側—』（共同保存図書館・多摩、2010年）など参看。
- \*11 同会の発足・活動については、桂まに子「戦後公共図書館史における三多摩郷土資料研究会の位置づけ」（『東京大学大学院教育学研究科紀要』48、2008年）に詳しい。
- \*12 三多摩郷土資料研究会編『多摩地域郷土資料業務実態調査報告書 昭和64年4月現在』（三多摩郷土資料研究会、1986年）、同『多摩地域郷土資料・地域資料業務実態調査報告書 平成7年7月調査』（三多摩郷土資料研究会、1996年）、三多摩地域資料研究会編『多摩地区公立図書館地域資料業務実態調査報告書 平成17年7月調査』（三多摩地域資料研究会、2006年）、同編『多摩地区公立図書館地域資料業務実態調査報告書 平成27年7月調査』（同、2016年）。
- \*13 太田尚宏「民間アーカイブズの保全と地域連携—東京都多摩地域での取り組みを事例に一」（前掲註6国文学研究資料館編『社会変容と民間アーカイブズ』）。
- \*14 杉田博「自治体史編さんの歩みと史料保存—八王子市史編さんのスタートにあたって—」（『まちづくり研究はちおうじ』5、2008年）ほか。八王子市は、近年市史編纂が完了した自治体であり、今後の動向に注目したい。
- \*15 公文書等の管理に関する法律施行後の多摩地域のアーカイブズに関する情報は、東京市町村自治調査会編『市町村等における公文書管理方法に関する調査報告書』（東京市町村自治調査会、2014年）が参考となる。
- \*16 保坂一房『地域資料の収集と保存—たましん地域文化財団歴史資料室の場合—』（共同保存図書館・多摩、2009年）。
- \*17 NPO 法人共同保存図書館・多摩 ホームページ <https://www.tamadepo.org/index.html>、座間直壯「NPO 法人共同保存図書館・多摩の誕生と今後の展望」（『出版ニュース』2142、2008年）ほか参照。「多摩デポブックレット」のテーマからもわかるように地域資料に関する問題も射程に入れている。

[付記] 本稿は、2019年4月に脱稿したものであり、10月の台風19号にともなう被害については反映できていない。

## 主要参考文献（発表年順）

\*資料目録、自治体史は多数に及ぶため割愛した。

三多摩郷土資料研究会編『多摩地域郷土資料業務実態調査報告書 昭和64年4月現在』（三多摩郷土資料研究会、1986年）

三多摩郷土資料研究会編『多摩地域郷土資料・地域資料業務実態調査報告書 平成7年7月調査』（三多摩郷土資料研究会、1996年）

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会編『日本の文書館運動—全史料協の20年—』（岩田書院、1996年）

三多摩郷土資料研究会編『地域資料入門』（日本図書館協会、1999年）

三多摩地域資料研究会編『多摩地区公立図書館地域資料業務実態調査報告書 平成17年7月調査』（三多摩地域資料研究会、2006年）

桂まに子「戦後公共図書館史における三多摩郷土資料研究会の位置づけ」（『東京大学大学院教育学研究科紀要』48、2008年）

杉田博「自治体史編さんの歩みと史料保存—八王子市史編さんのスタートにあたって—」（『まちづくり研究はちおうじ』5、2008年）

三多摩地域資料研究会編『多摩地区公立図書館地域資料業務実態調査報告書 平成27年7月調査』（同、2016年）

座間直壯「NPO 法人共同保存図書館・多摩の誕生と今後の展望」（『出版ニュース』2142、2008年）

保坂一房『地域資料の収集と保存—たましん地域文化財団歴史資料室の場合—』（共同保存図書館・多摩、2009年）

平山恵三・蛭田廣一『現在を生きる地域資料—利用する側・提供する側—』（共同保存図書館・多摩、2010年）

平川新「歴史資料を千年後まで残すために」（奥村弘編『歴史文化を大災害から守る』東京大学出版会、2014年）

東京市町村自治調査会編『市町村等における公文書管理方法に関する調査報告書』（東京市町村自治調査会、2014年）

白井哲哉「地域の記録と記憶を問い直す意義—郷土史の再評価とともに—」（白井・須田努編『地域の記録と記憶を問い直す-武州山の根地域の一九世紀-』八木書店、2015年）

国文学研究資料館編『社会変容と民間アーカイブズー地域の持続へ向けてー』（勉誠出版、2017年）

小池淳一ほか編『新しい地域文化研究の可能性を求めて』1（人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」、2017年）

白井哲哉『災害アーカイブー資料の救出から地域への還元までー』（東京堂出版、2019年）

## 多摩川流域地域における民間アーカイブズ所在状況

### 凡 例

- ・本表は、資料目録等の刊行時に博物館・資料館・図書館等に保管されず、所蔵者が独自に管理していた文書群を対象とした。ただし、その後、資料保存施設に寄託・寄贈されたと判明したものはリストから除外した。また、資料目録等の刊行後に移動があった可能性がある文書群でも、明確な情報がつかめていない場合はリストに掲載した。
- ・本表は、多摩川流域地域（世田谷区以外の23区と川崎市をのぞく）の自治体が刊行した資料目録を主な典拠として作成したものである。
- ・本表は、作成途中であり、今後追加・修正していく必要があるが、多摩川流域地域の史料保存・活用および歴史研究に資することを目的に、未完ながら公表するものである。
- ・本表の項目は、本研究で収集したデータのうち最も基礎的なデータである名称、出所、収蔵、年代上限、年代下限、点数、履歴等、典拠とした。詳細を確認したい場合には、典拠に示した文献に直接あたっていただきたい。
- ・本表に掲載されている情報は、原則典拠にしたがったが、作成の都合上、内容に影響を与えない範囲で加工した部分がある。また、加除・修正できる部分は改めた。
- ・本表で典拠とした刊行物は、図書館等でだれでも閲覧できる図書等だが、典拠には個人情報記載されている場合があるのでご留意いただきたい。
- ・本表に掲載されている文書群は、必ずしも閲覧体制が整っているわけではないので、ご留意いただきたい。
- ・国文学研究資料館が収蔵する文書群に関わる情報、東京都および東京都教育委員会・教育庁が編纂した刊行物から得られる情報は、一部を除き同館が運用するデータベースに登録されているため本表からは割愛した。同館の「収蔵歴史アーカイブズデータベース」、「史料所在データベース」（詳細版）および「史料情報共有化データベース」もあわせてご参照いただきたい。

## 典拠一覧

\*本表のうち「典拠」に書名をあげた文献

### ・奥多摩町

奥多摩町誌編纂委員会編『奥多摩町誌資料集 2 古文書目録』（奥多摩町教育委員会、1980）

奥多摩町誌編纂委員会編『奥多摩町誌資料集 7 古文書目録 2』（奥多摩町教育委員会、1982）

奥多摩町誌編纂委員会編『奥多摩町誌資料集 8 古文書目録 3』（奥多摩町教育委員会、1982）

奥多摩町誌編纂委員会編『奥多摩町誌資料集 9 古文書目録 4』（奥多摩町教育委員会、1984）

### ・檜原村

檜原村文化財専門委員会編『檜原村古文書目録—村の昔を書き残したもの—』（檜原村教育委員会、1990）

### ・青梅市

青梅市文化財保護委員会編『古文書目録—吉野家文書(旧下師岡村) 冊の部—』（青梅市郷土博物館、1972 年）

青梅市文化財保護委員会編『古文書目録—吉野家文書(旧下師岡村) 状の部—』（青梅市郷土博物館、1973 年）

青梅市文化財保護委員会編『福島家筏文書及び古文書目録』（青梅市文化財保護委員会、1968 年）

神奈川県県民部県史編集室編『神奈川県史別編 2 資料所在目録』（神奈川県、1981 年）

羽村町教育委員会編『羽村町史史料集第 3 集古文書目録』（羽村町教育委員会、1978 年）

### ・日の出町

日の出町史編さん委員会編『日の出町史料所在目録第 1～6 集』（日の出町教育委員会、1986～1995 年）

### ・八王子市

法政大学多摩図書館地方資料室編『高尾山薬王院文書目録』（法政大学多摩図書館地方資料室、1987 年）

法政大学多摩図書館地方資料室編『高尾山薬王院文書目録 補遺』（法政大学多摩図書館地方資料室、1988年）

上掲『神奈川県史別編2 資料所在目録』

・羽村市

上掲『羽村町史史料集第3集古文書目録』

・武蔵村山市

武蔵村山市史編集委員会編『武蔵村山市史調査報告書第2集 荒田家文書目録』（武蔵村山市、1996年）

武蔵村山市史編集委員会編『武蔵村山市史調査報告書第3集 増尾家文書目録』（武蔵村山市、1997年）

武蔵村山市教育委員会生涯学習部郷土資料室調査・編集委員編『武蔵村山市史調査報告書第12・13集 諸家文書目録(1)・(2)』（武蔵村山市、2004・2005年）

・福生市

福生市教育委員会編『福生市文化財調査報告第4集福生市文書目録第1』（福生市教育委員会、1975年）

福生市教育委員会編『福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2』（福生市教育委員会、1985年）

多仁照広編『多満自慢石川酒造文書 第1～9巻』（霞出版社、1985～2003年）

福生市教育委員会事務局生涯学習推進課文化財係編『福生市文化財総合調査報告書第33集石川彌八郎家(石川酒造)文書目録』（福生市教育委員会、2010年）

・昭島市

昭島市史編さん委員会編『昭島市史資料編地方文書目録1・2』（昭島市、1976～1978年）

・立川市

立川市教育委員会編『立川市文化財調査報告Ⅲ諏訪神社所蔵古文書目録』（立川市教育委員会、1982年）

立川市教育委員会編『立川市文化財調査報告Ⅳ旧柴崎村名主・中嶋家所蔵文書目録』（立川市教育委員会、1985年）

立川市教育委員会編『砂川家文書目録』（立川市教育委員会、1970年）

立川市教育委員会編『立川市史資料集第2集』（立川市教育委員会、1957年）

・日野市

法政大学多摩図書館地方資料室編『高幡山金剛寺文書目録』（法政大学多摩図書館地方資料室、1994年）

・多摩市

多摩市教育委員会編『多摩市文化財調査資料 文書篇 1～3』（多摩市教育委員会、1978～1979年）

多摩市史編集委員会編『多摩市史関係所在文書目録 1～3』（1990～1993年）

・町田市

東京都教育庁生涯学習部文化課編『町田市小野路地区文化財調査報告上』（東京都教育庁生涯学習部文化課、1992年）

上掲『神奈川県史別編2 資料所在目録』

・府中市

国分寺市史編さん委員会編『国分寺市史料目録Ⅲ』（国分寺市、1994年）

・小金井市

小金井市誌編さん委員会編『小金井市誌編纂資料第15編 小金井市古文書目録』（小金井市教育委員会、1985年）

小金井市誌編さん委員会編『小金井市誌編纂資料第16～27編 鈴木英男家文書1～11』（小金井市教育委員会、1986年）

小金井市誌編さん委員会編『小金井市誌編纂資料第49編 上小金井村小川家文書』（小金井市教育委員会、2010年）

小金井市誌編さん委員会編『小金井市誌編纂資料第52・53編 下小金井村大久保家文書(近

世編)・(近代編)』(小金井市教育委員会、2013・2014年)

小金井市誌編さん委員会編『小金井市誌編纂資料第54編 光明院文書』(小金井市教育委員会、2015年)

小金井市誌編さん委員会編『小金井市誌編纂資料第55編 下小金井村鴨下家文書』(小金井市教育委員会、2016年)

小金井市誌編さん委員会編『小金井市誌編纂資料第56～58編 下小金井村鴨下家文書』(小金井市教育委員会、2017～2019年)

・小平市

小平市図書館編『小平市古文書目録第5集 斉藤家文書目録』(小平市教育委員会、1983年)

小平市図書館編『小平市古文書目録第6集 山田家文書目録』(小平市教育委員会、1983年)

小平市図書館編『小平市古文書目録第7集 小川新田諸家文書目録』(小平市教育委員会、1984年)

小平市図書館編『小平市古文書目録第8集 小川家文書目録上・下』(小平市教育委員会、1986年)

小平市図書館編『小平市古文書目録第9集 鈴木家文書目録』(小平市教育委員会、1987年)

小平市図書館編『小平市古文書目録第10集 当麻伝兵衛家文書目録』(小平市教育委員会、1988年)

小平市図書館編『小平市古文書目録第11集 野中新田与右衛門組諸家文書目録』(小平市教育委員会、1989年)

小平市図書館編『小平市古文書目録第12集 諸家文書目録』(小平市教育委員会、1990年)

小平市図書館編『小平市古文書目録第13集 諸家文書追加目録』(小平市教育委員会、1991年)

小平市図書館編『小平市古文書目録第14集 斉藤家文書目録増補改訂版』(小平市教育委員会、1992年)

小平市図書館編『小平市古文書目録別集 1 小平市内諸家所蔵古書目録』(小平市教育委



員会、1984年)

小平市図書館編『小平市古文書目録別集2 小平市内諸家所蔵古書目録2』(小平市教育委員会、1992年)

・東久留米市

東久留米市教育委員会編『東久留米市文化財資料集2 古文書目録編』(東久留米市教育委員会、1974年)

東久留米市史編纂委員会編『地方文書目録門前町 貫井一郎家文書』(東久留米市史編纂委員会、1976年)

東久留米市史編さん委員会編『東久留米市史 史料』(東久留米市、1978年)

・国分寺市

国分寺市史編さん委員会編『国分寺市史料目録1～3』(国分寺市、1979～1994年)

・国立市

くにたち中央図書館編『国立地域史料叢書第5集 佐藤康胤家所蔵史料2』(くにたち中央図書館、1982年)

くにたち中央図書館編『佐伯友作家所蔵文書・旧久保講中共有文書』(くにたち中央図書館、1983年)

くにたち中央図書館編『西野利夫家所蔵文書・石神組共有文書』(くにたち中央図書館、1984年)

くにたち中央図書館編『南養寺所蔵史料集1』(くにたち中央図書館、1984年)

くにたち中央図書館編『国立地域史料叢書第7集 佐伯麟之助家所蔵文書1』(くにたち中央図書館、1986年)

くにたち中央図書館編『国立地域史料叢書第9集 谷保天満宮所蔵文書1』(くにたち中央図書館、1987年)

くにたち中央図書館編『国立地域史料叢書第10集 本田定弘家所蔵文書』(くにたち中央図書館、1987年)

くにたち中央図書館編『国立地域史料叢書第16集 三田敬次家文書』(くにたち中央図書館、1993年)

くにたち中央図書館編『国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録』（くにたち中央図書館、1994年）

・東大和市

東大和市教育委員会編『東大和市古文書目録2』（東大和市教育委員会、1988年）

・武蔵野市

武蔵野市編『武蔵野市史 史料目録編2』（武蔵野市、1974年）

・三鷹市

近世村落史研究会編『三鷹市史史料集 第1集』（三鷹市史編纂委員会、1969年）

・調布市

調布市郷土博物館編『萩原家文書目録』（調布市郷土博物館、1976年）

調布市郷土博物館編『熊沢家文書目録その1・その2』（調布市郷土博物館、1980年）

・狛江市

狛江市編『狛江市史料集第2～12』（狛江市、1973～1981年）

狛江市編『狛江市史料集第15』（狛江市、1982年）

・世田谷区

世田谷区立郷土資料館編『勝光院 文化財総合調査報告』（世田谷区教育委員会、1992年）

下山照夫編『武州烏山村文書目録』（烏山給田史談会、1979年）

小田原市立図書館編『小田原の近世文書目録2』（小田原市立図書館、1981年）

佐賀市総務課編『佐賀市史関係史料調査目録』（佐賀市、1982年）

小田原市立図書館編『小田原の近世文書目録5』（小田原市立図書館、1986年）

壬生町史編さん委員会編『壬生町史資料文書目録第1集』（壬生町、1989年）

山本ミオ・山本カネ・山本隆俊・長尾剛著『石橋樓覺書』（三軒茶屋石橋樓、2006年）

## 多摩川流域地域におけるアーカイブズ所在状況

名称	出所	収蔵/保管	年代上限	年代下限	点数	履歴等	出典
田草川隆家文書	奥多摩町氷川	個人	寛文4	文久3	357	名主	奥多摩町誌資料集2古文書目録
田草川隆家文書 (追録)	奥多摩町氷川	個人	承応3	安政6	32	名主	奥多摩町誌資料集9古文書目録4
福島強一家文書	奥多摩町大丹波	個人	寛文8	大正15	676	名主/村長/村会議 員	奥多摩町誌資料集2古文書目録
福島強一家文書 (追録)	奥多摩町大丹波	個人	享保5	昭和7	83	名主/村長/村会議 員	奥多摩町誌資料集9古文書目録4
木村六之助家文書	奥多摩町海沢	個人	寛文8	昭和	23	地方	奥多摩町誌資料集2古文書目録
中村さよ家文書	奥多摩町川井	個人	天明4	明治29	44	地方	奥多摩町誌資料集2古文書目録
中村さよ家文書(追 録)	奥多摩町川井	個人	宝暦7	慶応4	34	地方	奥多摩町誌資料集9古文書目録4
清水久一家文書	奥多摩町棚沢	奥多摩町	文化12	大正6	11	地誌編纂	奥多摩町誌資料集2古文書目録
牧野勲家文書	奥多摩町海沢	個人	寛文8	明治8	5	地方	奥多摩町誌資料集2古文書目録
清水荘五郎家文書	奥多摩町氷川	奥多摩町	寛文8	寛文8	10	検地帳	奥多摩町誌資料集2古文書目録
原島嘉苗家文書	奥多摩町小丹波	個人	寛文2	大正	553	名主	奥多摩町誌資料集2古文書目録
大沢康男家文書	奥多摩町白丸	個人	寛文8	大正7	638	名主/副戸長/村長	奥多摩町誌資料集2古文書目録
大沢康男家文書 (追録)	奥多摩町白丸	個人	寛永15	明治22	356	名主/副戸長/村長	奥多摩町誌資料集7古文書目録2
川辺隆道家文書	奥多摩町	個人	文化13	明治22	19	神社関係	奥多摩町誌資料集7古文書目録2
原島義金家文書	奥多摩町	個人	天保8	明治23	72	地方	奥多摩町誌資料集7古文書目録2
木村利男家文書	奥多摩町	個人	文政9	大正15	287	地方	奥多摩町誌資料集7古文書目録2
坂和一雄家文書	奥多摩町	個人	寛永2	明治28	242	神社関係	奥多摩町誌資料集7古文書目録2
坂和一雄家文書 (追録分)	奥多摩町	個人	元禄12	大正7	247	神職	奥多摩町誌資料集9古文書目録4
武田傳家文書	奥多摩町	個人	文政11	明治14	13	林業関係	奥多摩町誌資料集7古文書目録2
原島甲子家文書	奥多摩町	個人	元亀元	大正元	187	地方	奥多摩町誌資料集7古文書目録2
原島甲子家文書 (追録)	奥多摩町	個人	享保6	明治35	166	地方	奥多摩町誌資料集9古文書目録4
浜野清治家文書	奥多摩町梅沢	個人	寛文8	明治34	734	地方	奥多摩町誌資料集7古文書目録2
浜野清治家文書 (追録)	奥多摩町梅沢	個人	享保2	明治42	51	地方	奥多摩町誌資料集9古文書目録4
杉田家文書	奥多摩町小河内	個人	慶長2	大正11	1273	武士/地方	奥多摩町誌資料集8古文書目録3
杉田芳治家文書 *杉田家文書の追録	奥多摩町小河内	個人	慶安元	昭和13	215	地方	奥多摩町誌資料集9古文書目録4
原島康洲家文書	奥多摩町小河内	個人	慶長	明治28	129	地方	奥多摩町誌資料集8古文書目録3
原島友州家文書 *原島康洲家文書の 追録	奥多摩町小河内	個人	承応2	大正元	834	地方	奥多摩町誌資料集9古文書目録4
河村政紀家文書	奥多摩町小河内	個人	寛永7	明治40	260	酒造/地方	奥多摩町誌資料集8古文書目録3
原島貫一家文書	奥多摩町小河内	個人	承応3	明治6	314	地方	奥多摩町誌資料集8古文書目録3
原島重上家文書 *原島貫一家文書の 追録	奥多摩町小河内	個人	貞享3	慶応2	330	地方	奥多摩町誌資料集9古文書目録4
河村理一郎家文書	奥多摩町小河内	個人	享保11	大正6	297	地方	奥多摩町誌資料集8古文書目録3
酒井家文書	奥多摩町小河内	個人	文政8	明治34	77	地方	奥多摩町誌資料集8古文書目録3
原島實家文書	奥多摩町	個人	近世	大正	1261	地方	奥多摩町誌資料集8古文書目録3
宇田薫家古文書	檜原村出畑	個人	天文元	明治34	188	地方	檜原村古文書目録
武田静雄家古文書	檜原村上川乗	個人	大永元	明治19	179	地方	檜原村古文書目録
坂本貞良家古文書	檜原村神戸	個人	寛文7	明治20	138	地方	檜原村古文書目録
峰岸登家古文書	檜原村宮ヶ谷戸	個人	享保7	安政6	12	地方	檜原村古文書目録
土屋和夫家古文書	檜原村下元郷	個人	天正8	明治33	3	地方	檜原村古文書目録
岡部慎一郎家古文書	檜原村上元郷	個人	文政	大正	7	地方	檜原村古文書目録
中村正巳家古文書	檜原村笛吹	個人	文政11	明治35	7	地方	檜原村古文書目録
宇田篤夫家古文書	檜原村出畑	個人	嘉永3	嘉永3	1	地方	檜原村古文書目録
清水正雄家古文書	檜原村下川乗	個人	慶応元	慶応元	1	地方	檜原村古文書目録
故浜中銀之助家古文 書	檜原村上川乗	個人	享保20	大正7	4	香具師	檜原村古文書目録
山本孝男家古文書	檜原村上川乗	個人	明治21	明治25	2	地方	檜原村古文書目録

## 多摩川流域地域におけるアーカイブズ所在状況

小林省太郎家古文書	檜原村数馬	個人	昭和28	昭和28	1	芸能	檜原村古文書目録
岡部金雄家古文書	檜原村数馬	個人	寛文7	明治18	2	地方	檜原村古文書目録
坂本孝嘉家古文書	檜原村人里	個人	文久3	文久3	1	地方	檜原村古文書目録
池谷重雄家古文書	檜原村下川乗	個人	近世後期	近世後期	1	由緒	檜原村古文書目録
清水章好家古文書	檜原村下川乗	個人	近世後期	近世後期	1	由緒	檜原村古文書目録
高橋亨家古文書	檜原村人里	個人	昭和41	昭和41	1	研究	檜原村古文書目録
野村康夫家古文書	檜原村笹野	個人	明治44	明治44	1	学校関係	檜原村古文書目録
田中進家古文書	檜原村笹野	個人	享保2	昭和33	13	地方	檜原村古文書目録
久保田紀弘家古文書	檜原村笹野	個人	近世後期	近世後期	1	「御きなさんは」	檜原村古文書目録
市川利一家古文書	檜原村中里	個人	文化14	昭和53	5	宗教関係	檜原村古文書目録
市川敏家古文書	檜原村中里	個人	享保13	明治44	2	証文	檜原村古文書目録
小林正作家古文書	檜原村神戸	個人	嘉永6	嘉永6	1	証文	檜原村古文書目録
浜中新家古文書	檜原村大沢	個人	享保15	明治41	7	地方	檜原村古文書目録
浜中武義家古文書	檜原村大沢	個人	嘉永5	明治13	2	地方	檜原村古文書目録
浜中大治家古文書	檜原村大沢	個人	元治2	元治2	1	議定	檜原村古文書目録
吉野高明家古文書	郡檜原村白倉	個人	明治10	明治10	1	由緒	檜原村古文書目録
吉野作楽家古文書	郡檜原村白倉	個人	慶安元	嘉永5	9	神職	檜原村古文書目録
峰岸泰策家古文書	檜原村宮ヶ谷戸	個人	天保7	天保7	1	証文	檜原村古文書目録
高橋金季家古文書	檜原村夏地	個人	天明2	天明2	1	上申書	檜原村古文書目録
土屋喜典家古文書	檜原村小岩	個人	寛文7	明治8	9	地方	檜原村古文書目録
小林忠利家古文書	檜原村中組	個人	寛政6	寛政6	1	手形	檜原村古文書目録
小泉節雄家古文書	檜原村中組	個人	元禄6	元禄6	1	修験	檜原村古文書目録
小泉良正家古文書	檜原村中組	個人	天文元	天文元	1	芸能	檜原村古文書目録
志村吉一家古文書	檜原村本宿	個人	享保7	明治12	59	地方	檜原村古文書目録
富岡家文書	青梅市富岡	個人	元禄3	明治6	12	地方	神奈川県史別編2 資料所在目録
津雲家文書	青梅市住江町	個人	近世	近代	200以上	衆議院議員	津雲邸における調査
清水家文書	青梅市御岳	個人	慶応3	明治5	7	地方	羽村町史史料集第3集古文書目録
吉野禎次家文書	青梅市下師岡	個人	天文元	明治14	2430	地方	古文書目録
島田藤家文書	青梅市河辺	個人	元禄13	明治16	108	地方	福島家筏文書及び古文書目録
清水利家文書	青梅市御岳	個人	慶長3	昭和5	60	地方	福島家筏文書及び古文書目録
山田茂男家文書	青梅市	個人	明治13	昭和28	13	地方	福島家筏文書及び古文書目録
伊藤家文書	青梅市	個人	文化元	明治14	22	地方	福島家筏文書及び古文書目録
乗願寺文書	青梅市勝沼	青梅市教育委員会	文化6	明治3	250	寺院	福島家筏文書及び古文書目録
青梅馬頭講文書	青梅市	個人	元治元	昭和27	約167	講	福島家筏文書及び古文書目録
小林文右衛門家文書	青梅市	青梅市教育委員会	寛文4	昭和12	約424	地方	福島家筏文書及び古文書目録
塩船寺文書	青梅市塩船	青梅市教育委員会	天正18	昭和21	約1387	寺院	福島家筏文書及び古文書目録
金井家文書	青梅市	個人	近世	近代	約1万	神社	武州御嶽山文書第1~4巻
野口定一家文書	日の出町平井	個人	寛文7	明治36	1184	千人同心	日の出町史料所在目録第1集
野口芳男家文書	日の出町大久野	個人	延宝4	昭和12	185	地方	日の出町史料所在目録第1集
野口弥之助家文書	日の出町平井	個人	寛文7	明治41	309	組頭	日の出町史料所在目録第1集
田中芳男家文書	日の出町平井	個人	永禄5	昭和8	119	地方	日の出町史料所在目録第1集
原タツ子家文書	日の出町大久野	個人	寛文10	大正10	464	地方	日の出町史料所在目録第1集
青木十治家文書	日の出町平井	個人	宝永2	大正12	1078	名主/千人同心	日の出町史料所在目録第1集
青木十治家文書(補遺)	日の出町平井	個人	安政	明治17	2	名主/千人同心	日の出町史料所在目録第3集
青木安由家文書	日の出町大久野	個人	慶安3	昭和39	977	千人同心	日の出町史料所在目録第1集
青木安由家文書(補遺)	日の出町大久野	個人	元禄2	明治8	33	千人同心	日の出町史料所在目録第3集
和田家文書	日の出町大久野	日の出町	寛文7	大正7	511	名主	日の出町史料所在目録第1集
和田家文書(補遺)	日の出町大久野	日の出町	天保8	天保14	3	名主	日の出町史料所在目録第3集
福嶋清家文書	日の出町平井	個人	元禄9	昭和24	95	地方	日の出町史料所在目録第2集
青木アサ家文書	日の出町大久野	個人	寛文7	昭和9	705	地方	日の出町史料所在目録第2集
清水静雄家文書	日の出町平井	個人	元禄2	明治37	97	組頭	日の出町史料所在目録第2集
古山洋一家文書	日の出町大久野	個人	貞享3	大正元	270	名主	日の出町史料所在目録第2集
田中重春家文書	日の出町大久野	個人	宝暦6	明治41	43	地方	日の出町史料所在目録第2集
和田一男家文書	日の出町大久野	個人	寛文元	昭和2	351	地方	日の出町史料所在目録第2集

多摩川流域地域におけるアーカイブズ所在状況

森田一郎家文書	日の出町大久野	個人	寛延2	明治42	24	地方	日の出町史料所在目録第2集
森田進家文書	日の出町大久野	個人	元文2	大正15	353	地方	日の出町史料所在目録第2集
宮野与一家文書	日の出町平井	個人	文永5	元治元	24	地方	日の出町史料所在目録第2集
須田昭治文書	日の出町平井	個人	享保14	大正2	204	千人同心	日の出町史料所在目録第2集
浜中源一家文書	日の出町大久野	個人	宝暦11	昭和27	83	地方	日の出町史料所在目録第2集
宮田一孝家文書	日の出町大久野	個人	享保2	昭和39	150	神社	日の出町史料所在目録第2集
森田佑治家文書	日の出町大久野	個人	享保13	明治26	75	地方	日の出町史料所在目録第2集
青木利一家文書	日の出町大久野	個人	明和8	昭和	573	地方	日の出町史料所在目録第2集
清水忠次家文書	日の出町大久野	個人	天保12	昭和30	78	寺社関係	日の出町史料所在目録第2集
嶋崎富士男家文書	日の出町大久野	個人	寛文7	大正	231	千人同心	日の出町史料所在目録第2集
古山吉利家文書	日の出町大久野	個人	寛文7	明治10	34	千人同心	日の出町史料所在目録第2集
金子安雄家文書	日の出町大久野	個人	享保4	昭和33	142	地方	日の出町史料所在目録第2集
宮岡正雄家文書	日の出町大久野	個人	貞享元	大正3	192	地方	日の出町史料所在目録第2集
橋本一白家文書	日の出町大久野	個人	嘉永元	万延元	2	地方	日の出町史料所在目録第2集
橋本源司家文書	日の出町大久野	個人	元禄4	昭和22	103	林業関係	日の出町史料所在目録第2集
西福寺文書	日の出町大久野	西福寺	天文4	昭和18	1319	寺院	日の出町史料所在目録第3集
宮田昇家文書	日の出町大久野	個人	天正元	大正14	476	地方	日の出町史料所在目録第3集
羽生平三家文書	日の出町大久野	個人	延宝8	元禄13	26	地方	日の出町史料所在目録第3集
荒井恭一郎家文書	日の出町大久野	個人	享和2	大正14	77	地方	日の出町史料所在目録第3集
羽生卓史家文書	日の出町大久野	個人	近世	平成	10000以上	名主/組頭/林業関係	羽生家における調査/日の出町史料所在目録第4集
三宅茂家文書	日の出町平井	個人	文治4	昭和43	3521	千人同心	日の出町史料所在目録第5集
旧大久野村文書	日の出町大久野	日の出町	寛保2	昭和30	308	村役場	日の出町史料所在目録第6集
旧平井村文書	日の出町平井	日の出町	享保18	昭和30	639	村役場	日の出町史料所在目録第6集
庶務課文書	日の出町平井	日の出町	明治6	昭和30	294	戸長役場/村役場/町役場	日の出町史料所在目録第6集
内山安兵衛家文書	あきる野市五日市町	個人	元文元	明治38	232	五日市鉄道社長	日の出町史料所在目録第3集
薬王院有喜寺文書	八王子市横山町	薬王院有喜寺	弘治33	昭和33	2267	寺院	高尾山薬王院文書目録
磯沼洋三家文書	八王子市小比企町	個人	元文2	文久元	10	生糸関係	神奈川県史別編2 資料所在目録
大塚秀光家文書	八王子市鍵水	個人	文政6	明治14	17	生糸関係	神奈川県史別編2 資料所在目録
坂本沙都雄家文書	羽村市	個人	慶長7	明治9	179	地方	羽村町史史料集第3集古文書目録
下田伊左衛門家文書	羽村市	個人	元禄10	大正10	310	養蚕	羽村町史史料集第3集古文書目録
山崎利策家文書	羽村市	個人	文化4	明治12	12	水利	羽村町史史料集第3集古文書目録
渡辺時三家文書	羽村市五ノ神	個人	寛永	明治33	412	名主	羽村町史史料集第3集古文書目録
渡辺長次家文書	羽村市五ノ神	個人	文政5	明治16	10	金銭出入帳	羽村町史史料集第3集古文書目録
桜沢虎男家文書	羽村市五ノ神	個人	天文6	安永6	6	地方	羽村町史史料集第3集古文書目録
新井光家文書	羽村市川崎	個人	寛文	昭和10	360	名主	羽村町史史料集第3集古文書目録
中根公平家文書	羽村市川崎	個人	延宝6	昭和3	477	名主分家	羽村町史史料集第3集古文書目録
中野喜一家文書	羽村市川崎	個人	元禄7	明治元	26	地方	羽村町史史料集第3集古文書目録
荒田孚家文書	武蔵村山市岸	個人	寛文	昭和	4314	名主	武蔵村山市史調査報告書第1集荒田家文書目録
増尾音治家文書	武蔵村山市三ツ木	個人	近世	大正	4285	名主/戸長/副戸長	武蔵村山市史調査報告書第2集増尾家文書目録
内野佐兵衛家文書	武蔵村山氏中藤	個人	近世	近代	1639	名主	武蔵村山市史調査報告書第12集諸家文書目録(1)
内野七郎右衛門家文書	武蔵村山市中藤	個人	文化5	昭和57	56	名主	武蔵村山市史調査報告書第12集諸家文書目録(1)
内野旦朗家文書	武蔵村山市中藤	個人	天保元	昭和3	74	組頭/俳人	武蔵村山市史調査報告書第12集諸家文書目録(1)
野島嘉右衛門家文書	武蔵村山岸	個人	近世	近代	715	名主	武蔵村山市史調査報告書第12集諸家文書目録(1)
水越久右衛門家文書	武蔵村山市三ツ木	個人	貞享2	明治14	64	名主	武蔵村山市史調査報告書第12集諸家文書目録(1)
中村五左衛門家文書	武蔵村山市岸	個人	享保5	明治31	171	組頭/酒屋	武蔵村山市史調査報告書第12集諸家文書目録(1)
波多野彦右衛門家文書	武蔵村山市本町	個人	文政5	明治41	104	名主	武蔵村山市史調査報告書第12集諸家文書目録(1)
渡辺善一家文書	武蔵村山市中央	個人	近世	近代	901	商人	武蔵村山市史調査報告書第13集諸家文書目録(2)

## 多摩川流域地域におけるアーカイブズ所在状況

横田照寿家文書	福生市	個人	宝永元	明治15	88	地方	福生市文化財調査報告第4集福生市文書目録第1
伊藤寿一家文書	福生市	個人	正徳4	明治16	34	地方	福生市文化財調査報告第4集福生市文書目録第1
田村喜一家文書	福生市	個人	延享2	文化3	9	地方	福生市文化財調査報告第4集福生市文書目録第1
井上誠三家文書	福生市	個人	享保3	寛政7	2	地方	福生市文化財調査報告第4集福生市文書目録第1
宮本豊員家文書	福生市	個人	宝永2	明治14	83	地方	福生市文化財調査報告第4集福生市文書目録第1
清水延一家文書	福生市	個人	元禄6	明治19	98	地方	福生市文化財調査報告第4集福生市文書目録第1
石川和良家文書	福生市	個人	大正13	昭和22	2	地方	福生市文化財調査報告第4集福生市文書目録第1
井上久右衛門家文書	福生市	個人	享保8	昭和12	591	地方	福生市文化財調査報告第4集福生市文書目録第1
石川元八家文書	福生市	個人	慶長14	大正5	408	地方	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
内出英雄家文書	福生市	個人	慶長12	大正11	596	地方	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
熊川神社文書	福生市	熊川神社	享和2	昭和37	625	神社	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
野島茂雄家文書	福生市	個人	延宝4	明治38	195	地方	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
志茂一町会文書	福生市	志茂一町会	明治5	昭和23	202	町会	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
長沢膳椀五人組文書	福生市	—	—	—	—	五人組	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
野島政一家文書	福生市	個人	明治16	明治18	5	戸長/学務員	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
浜中輝夫家文書	福生市	個人	大正6	昭和11	38	地方	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
木村源次家文書	福生市	個人	文久元	明治27	3	地方	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
笹本正夫家文書	福生市	個人	安政5	大正8	9	地方	福生市文化財調査報告第18集福生市文書目録第2
石川酒造（石川彌八郎家）文書	福生市	個人	近世	近代	約75000	名主/酒造	多満自慢石川酒造文書第1～9/石川彌八郎家(石川酒造)文書目録
指田萬吉家文書	昭島市上川原	個人	正徳3	明治34	356	名主	昭島市史資料編地方文書目録1
指田十次家文書	昭島市上川原	個人	元和2	大正7	1947	名主/養蚕/要豚	昭島市史資料編地方文書目録1
宮崎久義家文書	昭島市上川原	個人	—	—	3	名主	昭島市史資料編地方文書目録1
紅林義夫家文書	昭島市郷地	個人	享保5	大正10	217	地方	昭島市史資料編地方文書目録1
紅林運八郎家文書	昭島市郷地	個人	元禄4	明治44	81	名主	昭島市史資料編地方文書目録1
諏訪神社文書	立川市柴崎町	諏訪神社	慶長20	昭和6	2379	神社	立川市文化財調査報告Ⅲ諏訪神社所蔵古文書目録
中嶋家文書	立川市柴崎町	個人	寛文7	昭和17	758	名主	立川市文化財調査報告Ⅳ旧柴崎村名主・中嶋家所蔵文書目録
砂川昌平家文書	立川市砂川町	個人	元禄2	昭和14	1647	名主	砂川家文書目録
小川淳一家文書	立川市柴崎町	個人	寛文9	明治2	25	地方	立川市史資料集第2集
高幡山明王院金剛寺文書	日野市高幡	明王院金剛寺	応永22	昭和50	1705	寺院	高幡山金剛寺文書目録
土方家文書	日野市高幡	明王院金剛寺	嘉慶元	明治23	11	寺院	高幡山金剛寺文書目録
有山貞一郎家文書	多摩市	個人	元禄2	明治19	545	名主/戸長	多摩市文化財調査資料文書篇1
飯島一郎家文書	多摩市	個人	元禄14	明治32	128	名主/組頭	多摩市文化財調査資料文書篇1
石阪好文家文書	多摩市	個人	元禄11	明治36	697	名主/戸長	多摩市文化財調査資料文書篇1
小形太郎家文書	多摩市	個人	天保14	明治32	19	地方	多摩市文化財調査資料文書篇1
小形忠家文書	多摩市	個人	文政12	昭和3	90	組頭	多摩市文化財調査資料文書篇1
小島丞助家文書	多摩市	個人	延享2	明治20	12	組頭	多摩市文化財調査資料文書篇1
小林利政家文書	多摩市	個人	寛政元	明治26	316	地方	多摩市文化財調査資料文書篇1
小山晶家文書	多摩市	個人	元禄5	昭和16	794	名主/千人同心	多摩市文化財調査資料文書篇1
杉田勇家文書	多摩市	個人	天文24	明治21	33	武士	多摩市文化財調査資料文書篇1

## 多摩川流域地域におけるアーカイブズ所在状況

高橋政一家文書	多摩市	個人	元治元	元治元	1	兵賦	多摩市文化財調査資料文書篇1
田中秋造家文書	多摩市	個人	享保7	明治20	32	名主/組頭/目籠	多摩市文化財調査資料文書篇1
東福寺文書	多摩市	寺院	文政10	天保12	3	寺院	多摩市文化財調査資料文書篇1
浜田正之家文書	多摩市	個人	元禄2	大正14	339	組頭/御狝場監守	多摩市文化財調査資料文書篇1
藤井九一家文書	多摩市	個人	寛文5	明治9	41	名主	多摩市文化財調査資料文書篇1
峯岸虎夫家文書	多摩市	個人	文政11	大正4	38	組頭	多摩市文化財調査資料文書篇1
柚木健蔵家文書	多摩市	個人	寛永14	明治23	82	名主	多摩市文化財調査資料文書篇1
柚木積治家文書	多摩市	個人	天保13	明治40	54	名主	多摩市文化財調査資料文書篇1
横倉鋭之助家文書	多摩市	個人	安永5	昭和6	97	生糸関係	多摩市文化財調査資料文書篇1
太田伊三郎家文書	多摩市	個人	宝永2	昭和13	655	神職	多摩市文化財調査資料文書篇2
佐伯米男家文書	多摩市	個人	正保2	享保2	3	武士	多摩市文化財調査資料文書篇2
山田賢介家文書	多摩市	個人	享保10	昭和23	487	地方	多摩市文化財調査資料文書篇2
山田武夫家文書	多摩市	個人	寛永14	明治17	298	地方	多摩市文化財調査資料文書篇2
山口正太郎家文書	多摩市	個人	文禄3	大正6	173	地方	多摩市文化財調査資料文書篇2
相澤千代子家文書	多摩市	個人	延宝9	明治7	50	地方	多摩市文化財調査資料文書篇3
有山昭夫家文書	多摩市	個人	延宝6	昭和22	465	名主	多摩市文化財調査資料文書篇3
伊野英三家文書	多摩市	個人	慶長10	明治35	43	名主/戸長	多摩市文化財調査資料文書篇3
内田由雄家文書	多摩市	個人	明治23	大正14	6	神社関係	多摩市文化財調査資料文書篇3
小磯美代治家文書	多摩市	個人	文化11	明治18	17	地方	多摩市文化財調査資料文書篇3
寺澤茂世家文書	多摩市	個人	寛文11	大正10	739	名主	多摩市文化財調査資料文書篇3
太田伊三郎家文書	多摩市一ノ宮	個人	慶安元	昭和58	2337	神社	多摩市史関係所在文書目録2
山口正太郎家文書	多摩市一ノ宮	個人	元亀3	昭和3	184	名主/年寄	多摩市史関係所在文書目録2
伊野弘世家文書	多摩市東寺方	個人	貞享元	昭和29	1310	質屋/村会議員	多摩市史関係所在文書目録3
小島政孝家文書	町田市小野路	小島資料館	永正7	昭和35	6655	名主	町田市小野路地区文化財調査報告上/ 神奈川県史別編2 資料所在目録
井上敬三家文書	町田市鶴間	個人	享保14	明治4	10	生糸関係	神奈川県史別編2 資料所在目録
川崎昌美家文書	府中市押立町	個人	慶長9	昭和29	325	名主	国分寺市史料目録Ⅲ
梶家文書	小金井市	個人	慶長9	明治30	595	地方	小金井市誌編纂資料第15編小金井市古 文書目録
清水家文書	小金井市	個人	元文元	明治19	91	地方	小金井市誌編纂資料第15編小金井市古 文書目録
鈴木家文書	小金井市	個人	宝暦2	大正15	116	地方	小金井市誌編纂資料第15編小金井市古 文書目録
松島家文書	小金井市	個人	文政8	明治13	142	地方	小金井市誌編纂資料第15編小金井市古 文書目録
鈴木英男家文書	小金井市	個人	延宝6	昭和9	650	地方	小金井市誌編纂資料第16～27編鈴木 英男家文書1～12
小川家文書	小金井市	個人	寛延3	明治10	361	地方	小金井市誌編纂資料第49編上小金井村 小川家文書
星野家文書	小金井市	個人	明和8	明治45	78	地方	小金井市誌編纂資料第51編下小金井村 星野家文書
大久保家文書	小金井市	個人	寛永15	昭和21	367	地方	小金井市誌編纂資料第52・53編下小 金井村大久保家文書（近世編）・（近 代編）
光明院文書	小金井市	個人	貞享2	昭和21	143	修験	小金井市誌編纂資料第54編光明院文書
鴨下家文書	小金井市	個人	寛永12	明治24	319	地方	小金井市誌編纂資料第55編下小金井村 鴨下家文書
梶野家文書	小金井市	個人	享保13	明治26	1177	地方	小金井市誌編纂資料第56～58編梶野 新田梶野家文書1～3
齊藤央家文書	小平市回田町	個人	享保7	昭和13	7095	名主/玉川銀行	小平市古文書目録第5集齊藤家文書目 録/小平市古文書目録第14集 齊藤家文 書目増補改訂版
山田庄兵衛家文書	小平市回田町	個人	元文元	大正6	508	名主/組頭	小平市古文書目録第6集山田家文書目 録
山田庄兵衛家文書 （追加）	小平市回田町	個人	天保9	昭和6	228	名主/組頭/学校	小平市古文書目録第13集諸家文書追加 目録
滝島八郎家文書	小平市小川町	個人	元文元	昭和15	877	組頭	小平市古文書目録第7集小川新田諸家 文書目録
並木梅次郎家文書	小平市小川町	個人	近世	—	3	地方	小平市古文書目録第7集小川新田諸家 文書目録

## 多摩川流域地域におけるアーカイブズ所在状況

小川誠家文書	小平市小川町	個人	慶長10	昭和18	10946	名主	小平市古文書目録第8集小川家文書目録上・下
小川誠家文書（追加）	小平市小川町	個人	元文元	大正9	14	名主	小平市古文書目録第13集諸家文書追加目録
鈴木重雄家文書	小平市鈴木町	個人	享保5	大正8	371	名主	小平市古文書目録第9集鈴木家文書目録
当麻邦彦家文書	小平市大沼町	個人	享保13	昭和18	1411	名主/年寄	小平市古文書目録第10集当麻伝兵衛家文書目録
野中嘉吉家文書	小平市	個人	安永7	明治15	14	名主	小平市古文書目録第11集野中新田与右衛門組諸家文書目録
高橋節子家文書	小平市	個人	享保19	昭和14	133	地方	小平市古文書目録第11集野中新田与右衛門組諸家文書目録
原島一郎家文書	小平市	個人	近世	近世	1	地方	小平市古文書目録第12集諸家文書目録
中島幸一家文書	小平市鈴木町	個人	文政5	明治30	5	組頭	小平市古文書目録第12集諸家文書目録
岩淵辰雄家文書	小平市	個人	昭和2	昭和15	44	青年団	小平市古文書目録第12集諸家文書目録
丹生四郎家文書	小平市小川町	個人	文化8	昭和15	48	組頭	小平市古文書目録第12集諸家文書目録
宮崎和美家文書	小平市小川町	個人	宝永5	明治44	210	神社	小平市古文書目録第12集諸家文書目録
大久保泰一家文書	小平市	個人	明治12	明治12	1	地租改正関係	小平市古文書目録第12集諸家文書目録
宮崎久齊家文書	小平市	個人	天文2	明治23	74	神社	小平市古文書目録第13集諸家文書追加目録
当麻一郎家文書	小平市大沼町	個人	元文元	昭和13	33	地方	小平市古文書目録第13集諸家文書追加目録
鈴木家文書	小平市	個人	弘化2	昭和3	2	地方	小平市古文書目録別集2小平市内諸家所蔵古書目録2
斎藤家文書	小平市	個人	天和2	昭和7	464	典籍	小平市古文書目録別集2小平市内諸家所蔵古書目録2
当麻伝兵衛家文書	小平市	個人	文化5	昭和32	21	宗教関係	小平市古文書目録別集2小平市内諸家所蔵古書目録2
貫井一郎家文書	東久留米市大門町	個人	寛永20	明治34	1334	名主/戸長役場	地方文書目録 門前町貫井一郎家文書
小山康夫家文書	東久留米市小山	個人	享保4	明治23	1742	名主/組頭	東久留米市文化財資料集2古文書目録編
小山金司家文書	東久留米市小山	個人	正徳5	明治27	1044	名主	東久留米市文化財資料集2古文書目録編
大円寺文書	東久留米市小山	大円寺	元和元	大正15	54	寺院	東久留米市文化財資料集2古文書目録編
寺本亮晃家文書	東久留米市	個人	延宝2	明治30	146	個人	東久留米市文化財資料集2古文書目録編
林野光男家文書	東久留米市柳窪	個人	文久3	文久3	2	村明細帳	東久留米市史史料
本多幸次家文書	国分寺市	個人	文化10	昭和41	70	地方	国分寺市史料目録1・3
本田良雄家文書	国分寺市	個人	寛延4	明治5	129	名主	国分寺市史料目録2
小柳亨司家文書	国分寺市	個人	明治6	明治16	35	御用留	国分寺市史料目録2
本多克己家文書	国分寺市	個人	明治13	昭和3	17	水車	国分寺市史料目録3
小柳伸家文書	国分寺市	個人	明治18	昭和21	9	香典受納帳	国分寺市史料目録3
祥応寺文書	国分寺市	祥応寺	慶応2	昭和24	168	寺院	国分寺市史料目録3
萩原俊治家文書	国分寺市	個人	昭和17	昭和31	56	新聞	国分寺市史料目録3
本多寅太郎家文書	国分寺市	個人	明治36	昭和13	56	地方	国分寺市史料目録3
高井ハツ家文書	国分寺市	個人	寛永4	昭和6	35	煙硝商	国分寺市史料目録3
鈴木一巳家文書	国分寺市	個人	明治37	昭和8	24	地方	国分寺市史料目録3
本多不動講	国分寺市	祥応寺	昭和3	昭和35	5	講	国分寺市史料目録3
西川房雄家文書	国分寺市	個人	大正9	大正11	4	卒業証書	国分寺市史料目録3
野口巖家文書	国分寺市	個人	宝永元	昭和36	304	地方	国分寺市史料目録3
新藤一夫家文書	国分寺市	個人	天保5	大正10	9	地方	国分寺市史料目録3
神山貞雄家文書	国分寺市	個人	明治4	明治30	8	村長	国分寺市史料目録3
神山清家文書	国分寺市	個人	明治35	昭和57	4	地方	国分寺市史料目録3



## 多摩川流域地域におけるアーカイブズ所在状況

本多章吉家文書	国分寺市	個人	寛延2	明治11	2	地方	国分寺市史料目録3
田中重雄家文書	国分寺市	個人	明治41	大正元	3	地方	国分寺市史料目録3
武藤正家文書	国分寺市	個人	明治27	明治33	3	教科書	国分寺市史料目録3
神山平吉家文書	国分寺市	個人	宝暦2	昭和34	448	地方	国分寺市史料目録3
中村栄治家文書	国分寺市	個人	嘉永3	昭和38	112	村長/町長	国分寺市史料目録3
小柳享司家文書	国分寺市	個人	延宝6	大正12	826	百姓代/戸長/村用掛/助役/村長	国分寺市史料目録3
本多忠良家文書	国分寺市	個人	元禄13	昭和11	726	医師	国分寺市史料目録3
金子忠男家文書	国分寺市	個人	寛政元	昭和24	463	助役/村長	国分寺市史料目録3
本多良雄家文書	国分寺市	個人	天明元	昭和29	749	名主	国分寺市史料目録3
小柳實家文書	国分寺市	個人	正徳3	昭和45	1792	副戸長/代議人/村会議員	国分寺市史料目録3
萩原明夫家文書	国分寺市	個人	昭和10	昭和10	1	種痘済証	国分寺市史料目録3
坂本政吉家文書	国分寺市	個人	文化5	昭和43	662	大工/村会議員/町会議員	国分寺市史料目録3
尾崎幸雄家文書	国分寺市	個人	文政10	昭和23	501	組頭	国分寺市史料目録3
村越照明家文書	国分寺市	個人	昭和16	昭和22	269	新聞	国分寺市史料目録3
尾崎慎一家文書	国分寺市	個人	明治26	大正11	134	卒業証書	国分寺市史料目録3
尾崎幸男家文書	国分寺市	個人	延宝5	昭和16	349	教員	国分寺市史料目録3
立石清太郎家文書	国分寺市	個人	延宝6	昭和27	43	宗教関係	国分寺市史料目録3
鈴木栄治家文書	国分寺市	個人	明治8	昭和15	26	水車	国分寺市史料目録3
坂本金重家文書	国分寺市	個人	明治10	昭和17	152	卒業証書	国分寺市史料目録3
川鍋嘉兵衛家文書	国分寺市	個人	明治39	昭和27	101	教科書	国分寺市史料目録3
島田彦吉家文書	国分寺市	個人	明治33	明治38	5	教科書	国分寺市史料目録3
神山久俊家文書	国分寺市	個人	元文元	昭和18	177	村会議員	国分寺市史料目録3
川島清家文書	国分寺市	個人	享保5	昭和7	1538	村用掛/戸長	国分寺市史料目録3
清水清五郎家文書	国分寺市	個人	寛政2	昭和41	190	村用掛/戸長	国分寺市史料目録3
中藤伸弥家文書	国分寺市	個人	文化7	昭和11	28	地方	国分寺市史料目録3
池谷都瑠雄家文書	国分寺市	個人	近世	近世	5	地方	国分寺市史料目録3
内野孝治家文書	国分寺市	個人	明治25	昭和16	325	呉服店	国分寺市史料目録3
島田昭二家文書	国分寺市	個人	明治38	昭和39	316	材木店	国分寺市史料目録3
原稔家文書	国分寺市	個人	昭和6	昭和18	7	運送業/府議会議員	国分寺市史料目録3
川窪嘉久治家文書	国分寺市	個人	天保4	昭和16	805	組頭/村会議員	国分寺市史料目録3
川窪恒夫家文書	国分寺市	個人	元文元	昭和9	368	質屋	国分寺市史料目録3
吉野文吉家文書	国分寺市	個人	大正5	昭和48	381	履物業	国分寺市史料目録3
高梨孝明家文書	国分寺市	個人	文政10	文久2	27	武士	国分寺市史料目録3
佐伯友作家所蔵文書	国立市谷保	個人	延宝6	昭和4	183	名主/組頭/戸長/連合戸長/村長/府会議員	佐伯友作家所蔵文書・旧久保講中共有文書
旧久保講中共有文書	国立市谷保	久保公会堂	天保14	昭和10	190	講	佐伯友作家所蔵文書・旧久保講中共有文書
佐伯麟之助家所蔵文書	国立市谷保	個人	寛永16	昭和	1368	名主/組頭/村会議員	国立地域史料叢書第7集 佐伯麟之助家所蔵文書1
佐藤康胤家所蔵文書	国立市青柳	個人	天保6	明治7	54	千人同心	国立地域史料叢書第5集 佐藤康胤家所蔵史料2
三田敬次家文書	国立市谷保	個人	延文5	大正14	430	名主	国立地域史料叢書第16集 三田敬次家文書
谷保天満宮所蔵文書	国立市谷保	谷保天満宮	文化13	明治45	1267	神社	国立地域史料叢書第9集 谷保天満宮所蔵文書1
南養寺所蔵文書	国立市谷保	南養寺	慶安2	昭和5	418	寺院	南養寺所蔵史料集1
青柳講中共有文書	国立市青柳	青柳講中倉・青柳福祉センター・中村良作家	明治26	昭和57	42	講	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
沢井佐源太家文書	国立市青柳	国立市	明治	昭和23	1600	町会議員	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
漆畑晴枝家（旧千五遠藤家）文書	国立市谷保	個人	宝暦4	明治15	94	地方	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
遠藤仁家文書	国立市谷保	個人	天保11	明治39	20	用水	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
佐伯清家文書	国立市谷保	個人	延宝6	明治23	53	地方	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録

## 多摩川流域地域におけるアーカイブズ所在状況

坂下鈴木家文書	国立市谷保	個人	明治3	大正7	80	地方	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
佐藤勇家文書	国立市谷保	個人	明治14	昭和15	6	講	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
佐藤恵家文書	国立市青柳	個人	享保8	大正3	107	地主	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
佐藤定彦家文書	国立市谷保	国立市	文化12	昭和55	133	講	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
関保寿家文書	国立市中	個人	宝永2	昭和	36	寺院/神社	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
千丑組共有文書	国立市谷保	国立市	寛政5	昭和38	177	講	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
矢沢一弘家文書	国立市谷保	個人	元禄10	大正13	55	地方	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
西野利夫家文書	国立市谷保	個人	享保18	昭和17	76	百姓代/組頭/地主	国立地域史料叢書第17集 諸家文書目録
石神組共有文書	国立市谷保	個人	明治42	昭和54	115	講/町内会	西野利夫家所蔵文書・石神組共有文書
本田定弘家所蔵文書	国立市谷保	個人	元禄8	昭和10	1978	名主/年寄/連合戸長/医師	国立地域史料叢書第10集 本田定弘家所蔵文書
井上平八郎家文書	東大和市蔵敷	個人	宝暦11	昭和20	55	教科書	東大和市古文書目録2
鎌田康太郎家文書	東大和市蔵敷	個人	正徳6	昭和24	2041	自由民権運動	東大和市古文書目録2
押本克己家文書	東大和市奈良橋	個人	天和2	昭和23	704	宗教関係	東大和市古文書目録2
筑紫貞良家文書	東大和市	個人	文禄4	昭和22	83	旗本	東大和市古文書目録2
後藤銀三家文書	武蔵野市境	個人	宝暦6	明治11	52	地租改正	武蔵野市史史料目録編2
平野家文書	武蔵野市境	個人	享保21	昭和11	1130	年寄/村長	武蔵野市史史料目録編2
井野善太郎家文書	武蔵野市西久保	個人	寛文2	明治22	38	地方	武蔵野市史史料目録編2
延命寺文書	武蔵野市関前	延命寺	安永5	昭和30	719	寺院	武蔵野市史史料目録編2
高橋家文書	三鷹市牟礼	個人	永禄2	明治36	794	名主	三鷹市史史料集第1集
熊沢富雄家文書	調布市下石原	個人	延宝6	明治39	1091	地方	熊沢家文書目録その1・その2
萩原敬家文書	調布市飛田給	桐朋学園	天和3	昭和25	702	地方	萩原家文書目録
石谷潔家文書	調布市	個人	天保15	近世後期	1	武士	狛江市史料集第15
石井干城家文書	狛江市	個人	元弘3	慶応4	948	名主	狛江市史料集第2～6
谷田部錦三家文書	狛江市	個人	寛文5	慶応4	364	名主	狛江市史料集第7
荒井久孝家文書	狛江市	個人	寛文5	元治元	17	名主	狛江市史料集第8
小町利治家文書	狛江市	個人	明和2	明和2	1	儒者	狛江市史料集第8
飯田總智家文書	狛江市	個人	宝永5	宝永6	1	年寄	狛江市史料集第8
谷田部勇家文書	狛江市	個人	近世	近世	3	武士	狛江市史料集第8
石井市郎家文書	狛江市	個人	宝暦12	天保14	3	名主/年寄	狛江市史料集第8
谷田部庄作家文書	狛江市	個人	安政7	安政7	1	名主/年寄	狛江市史料集第8
絹山明家文書	狛江市	個人	明和7	享和2	2	穀物商	狛江市史料集第8
荒井信治家文書	狛江市	個人	文政元	文政元	1	「六所宮御本社拜殿再建連名控」	狛江市史料集第8
谷田部尚三家文書	狛江市	個人	文化13	慶応4	43	年寄/醤油業/荒物屋	狛江市史料集第8
栗原泰一家文書	狛江市	個人	天保4	天保4	1	「稻荷神璽」	狛江市史料集第8
高橋三五郎家文書	狛江市	個人	文禄3	元治元	12	地方	狛江市史料集第9
栗山長治家文書	狛江市	個人	明暦2	慶応3	119	名主	狛江市史料集第9
栗山弘光家文書	狛江市	個人	寛政10	慶応3	28	名主	狛江市史料集第9
鈴木茂男家文書	狛江市	個人	享保6	弘化5	18	地方	狛江市史料集第9
富永文男家文書	狛江市	個人	寛政7	慶応4	95	水車	狛江市史料集第9
富永和作家文書	狛江市	個人	明和3	文化13	11	地方	狛江市史料集第9
富永泰一家文書	狛江市	個人	天明4	慶応3	20	地方	狛江市史料集第9
富永武男家文書	狛江市	個人	文禄3	享保9	3	名主	狛江市史料集第9
伊豆美神社文書	狛江市	伊豆美神社	元禄6	慶応4	77	神社	狛江市史料集第10
泉竜寺文書	狛江市	個人	近世	近世	1	寺院	狛江市史料集第10
泉竜寺文書	狛江市	泉竜寺	天正	慶応4	469	寺院	狛江市史料集第11・12
玉泉寺文書	狛江市	玉泉寺	寛文4	明治元	79	寺院	狛江市史料集第12
円住院文書	狛江市	円住院	享保9	天保12	6	寺院	狛江市史料集第12
明静院文書	狛江市	明静院	貞享4	安永4	6	寺院	狛江市史料集第12
千手院文書	狛江市	千手院	寛文8	慶応4	12	寺院	狛江市史料集第12

多摩川流域地域におけるアーカイブズ所在状況

慶岸寺文書	狛江市	慶岸寺	寛文2	慶応3	14	寺院	狛江市史料集第12
菅原神社	狛江市	菅原神社	文化9	文久元	4	神社	狛江市史料集第12
谷田部公司家文書	狛江市	個人	元禄6	明治4	7	年寄	狛江市史料集第15
慶岸寺文書	狛江市	慶岸寺	元治2	慶応3	5	寺院	狛江市史料集第15
十幹森稻荷文書	狛江市	個人	文化15	文化15	1	稻荷社	狛江市史料集第15
荒井熊治家文書	狛江市	個人	文久2	文久2	1	棟札	狛江市史料集第15
小川繁留家文書	狛江市	個人	昭和43	昭和43	1	棟札	狛江市史料集第15
栗山保治家文書	狛江市	個人	寛永16	寛永16	1	地方	狛江市史料集第15
高木雄一家文書	狛江市	個人	嘉永3	嘉永3	1	棟札	狛江市史料集第15
白井稻荷文書	狛江市	個人	文化15	文化15	1	棟札	狛江市史料集第15
勝光院文書	世田谷区桜	勝光院	天正19	昭和2	473	寺院	勝光院文化財総合調査報告
高橋竜蔵家文書	世田谷区南烏山	個人	天保10	天保10	1	系図	武州烏山村文書目録
下山権三家文書	世田谷区南烏山	個人	文禄4	明治12	61	名主/千人同心	武州烏山村文書目録
志村章一家文書	世田谷区南烏山	個人	延宝2	明治38	556	名主/戸長	武州烏山村文書目録
並木敬三家文書	世田谷区南烏山	個人	嘉永3	明治15	2	名主/副戸長	武州烏山村文書目録
下山由雄家文書	世田谷区南烏山	個人	元禄8	嘉永7	31	名主	武州烏山村文書目録
志村次男家文書	世田谷区北烏山	個人	天保13	天保13	4	組頭	武州烏山村文書目録
小山棟太郎家文書	世田谷区北烏山	個人	明治9	明治13	5	卒業証書	武州烏山村文書目録
岩本清家文書	世田谷区南烏山	個人	宝暦9	天保10	9	組頭/年寄	武州烏山村文書目録
岩本源蔵家文書	世田谷区南烏山	個人	嘉永6	明治19	4	百姓代/組頭	武州烏山村文書目録
下山義雄家文書	世田谷区北烏山	個人	宝暦3	明治12	61	組頭	武州烏山村文書目録
杉田昭雄家文書	世田谷区南烏山	個人	明治12	明治42	77	百姓代/組頭	武州烏山村文書目録
下山新三家文書	世田谷区南烏山	個人	元禄2	明治18	279	名主/副戸長	武州烏山村文書目録
山本隆俊家文書	世田谷区	個人	近世	近現代	不明	武士/料理店	石橋樓覺書
斎藤広治家文書	小田原市	個人(世田谷区)	慶応4	慶応4	1	小田原	小田原の近世文書目録2
中垣謙二家文書	小田原市	個人(世田谷区)	元禄4	昭和17	313	武士	小田原の近世文書目録5
荒川秀俊家文書	壬生町	個人(世田谷区)	天保11	大正	21	壬生	壬生町史資料文書目録第1集
田中宏明家文書	不明	個人(世田谷区)	安政4	安政4	1	入北記	佐賀市史関係史料調査目録

## 多摩における資料保存と地域持続

宮間純一

### はじめに

－戦後の地域資料保存

地域資料<sup>\*1</sup>の散逸と「史料保存運動」

1951年文部省史料館の設置、1959年山口県文書館開館

「現地保存」の原則<sup>\*2</sup>、資料保存利用施設（文書館等）の設置が市区町村では遅れる  
博物館・資料館・図書館も人員不足や書架の飽和等により必ずしも受け皿になりえず  
→調査後も文化財として保護対象にならない多くの地域資料を「家」が保管

－今日の課題

・「地方消滅」と地域資料：高度経済成長期以来の地域社会の弱体化・解体

21世紀に入って加速→地域資料の担い手（文書を所蔵してきた旧名主家等）の喪失

・大規模災害と「郷土史」の再発見

災害による地域存立の危機、地域資料の被災・レスキュー

…「郷土史」の再評価<sup>\*3</sup>

→地域の足どりを跡づけるアーカイブズ（民間所在資料、公文書）への関心

地域持続のためのアーカイブズ<sup>\*4</sup>

### 1 多摩のこれまで

－東京都による文化財調査

1950年代 建造物、民俗資料等とあわせて古文書調査

『東京都文化財調査報告書』の刊行

－図書館と「郷土資料」

1960年代 府中市、奥多摩町、町田市、武蔵野市

1970年代 多摩地域の市町村で図書館設置ラッシュ、「郷土資料」の収集

1975年 三多摩郷土資料研究会（1999年に三多摩地域資料研究会に改称）発足<sup>\*5</sup>

多摩地域の「郷土資料」担当者が意見・情報の交換を行い、各館の「郷土資料」の充実をめざす

1986年・1996年・2005年・2016年 多摩地域の公立図書館における地域資料（1986年調査時は「郷土資料」と呼称、1996年時は「郷土資料」と「地域資料」を併記）に係る業務の実態調査<sup>\*6</sup>

⇒蛭田廣一報告：図書館の取り組み

－博物館等と地域資料

図書館とともに地域資料保存・活用の核に

1978年 東京都三多摩公立博物館協議会発足

－「自治体史」編纂と地域資料

1950年代後半～高度経済成長期に各地で開始、民間所在資料の悉皆調査・目録刊行

1990年前後 多くの自治体で編纂完了

－民間の活動

多摩中央信用金庫（現多摩信用金庫）：1975年～ 『多摩のあゆみ』

公益財団法人たましん地域文化財団歴史資料室：地域資料の収集・公開<sup>\*7</sup>

2006年 NPO 共同保存図書館・多摩（現特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩）発足<sup>\*8</sup> 等

⇒保坂一房コメント

## 2多摩の現在／これから

－多摩地域のいまとこれから

多摩地域全体：2020年を境に本格的な人口減少・少子高齢社会に突入<sup>\*9</sup>

西多摩地域：奥多摩町・檜原村はすでに過疎地域に指定

多摩川流域地域：自然災害のリスク \* 1974年9月：台風にともなう大洪水

－地域における＜文化財＞の活用

新しい自治体史編纂とアーカイブズ施設への期待<sup>\*10</sup>

民間所在資料・公文書の活用と地域アイデンティティの確立

奥多摩町「過疎地域自立促進計画」：有形・無形の文化財の保存・活用

⇒西村慎太郎報告：檜原村での実践

－把握されていない民間アーカイブズ

2014年の国文学研究資料館による調査

多摩地域の博物館等の施設を対象にした民間資料に関するアンケート

：館内外の地域資料を網羅的に把握できている館は約2割程度

緊急時に資料救済の対象となる館外資料は登録済みの文化財に限定される<sup>\*11</sup>

－失われゆく地域資料をまもり伝える、被災した資料を救うために

阪神淡路大震災以降の各地の経験から学ぶこと

⇒添田仁報告：2015年関東・東北豪雨

## 3わたしたちの活動

－データの収集・共有化

刊行物（目録・自治体史等）から民間所在資料に関する基礎データの収集

→多摩川流域地域を対象に：成果は報告書（現在作成中）＋国文学研究資料館にデータを

提供し「史料所在情報データベース」の更新に活かしていただく予定。

－関連文書の調査・研究

- ・青梅市津雲国利収集文書
- ・日の出町羽生家文書

#### **主な活動記録**

2017年7月22日 第1回研究会開催 於国文学研究資料館会議室

報告 宮間純一「多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究」について（岩立将史、心光康子、篠崎佑太、太田尚宏、高野宏峰、戸出晴香、西村慎太郎、保坂一房、松尾正人、宮間純一、吉岡拓）

2017年9月17・18日 青梅市津雲国利収集文書の調査・撮影（太田尚宏、牛米努、柏原洋太、篠崎佑太、清水裕介、心光康子、鈴木祥、高野宏峰、多田仁一、戸出晴香、西村慎太郎、松尾正人、宮間純一、吉岡拓）

2018年2月22日 日の出町羽生家文書の概要調査（清水裕介、宮間純一）

2018年3月1日 五日市郷土館にて石川家文書ほかの調査（清水裕介、宮間純一）

2018年3月5日 奥多摩水と緑のふれあい館における聞き取り調査（清水裕介、心光康子、戸出晴香、宮間純一）

2018年6月17日 日の出町羽生家文書の概要調査（清水裕介、宮間純一）

2018年8月18日 第2回研究会開催 於中央大学多摩キャンパス3号館  
津雲国利収集文書の研究会（岩立将史、篠崎佑太、鈴木祥、高野宏峰、多田仁一、戸出晴香、保坂一房、松尾正人、宮間純一）

2018年10月28日 日の出町羽生家文書の調査・整理（牛米努、江口真由、大銃地駿佑、篠崎佑太、高野宏峰、多田仁一、戸出晴香、成瀬真之介、保坂一房、宮間純一）

2018年11月8日 第3回研究会開催 於中央大学多摩キャンパス3号館  
研究報告書作成に関する研究会（清水裕介、宮間純一）

2018年11月23日 第4回研究会開催 於中央大学多摩キャンパス3号館  
シンポジウムに関する研究会（清水裕介、添田仁、西村慎太郎、蛭田廣一、保坂一房、宮間純一）

#### **むすびにかえて一本シンポジウムのねらい**

- ・多摩における地域資料保存・活用のこれまでを振り返り、これからを考える機会に
- ・組織・行政区分・専門領域の壁を越えた地域資料保存・活用のためのネットワーク構築
- ・既存の成果、各組織・個人の営為を活かしながらこれからのあり方を模索

- 
- \*1 本シンポジウムにおいて「地域資料」という場合は、主に民間由来の文書資料を想定しているが、公文書も地域資料の範囲に含む。公文書等の管理に関する法律施行後の多摩地域の状況は、東京市町村自治調査会編『市町村等における公文書管理方法に関する調査報告書』（東京市町村自治調査会、2014年）が参考となる。
- \*2 高野修「地域社会と文書館」（『藤沢市文書館紀要』13、1990年）など参照。なお、佐藤正広「史料保存における現地主義について」（『茅ヶ崎市史研究』15、1990年）のように、「史料を滅失の危機から救う」ためには、原理主義的な「現地保存」にとらわれず、現実的な調整を行う必要性を指摘するものもある。
- \*3 平川新「歴史資料を千年後まで残すために」（奥村弘編『歴史文化を大災害から守る』東京大学出版会、2014年）、白井哲哉「地域の記録と記憶を問い直す意義—郷土史の再評価とともに—」（白井・須田努編『地域の記録と記憶を問い直す—武州山の根地域の一九世紀—』八木書店、二〇一五年）ほか。
- \*4 西村慎太郎・加藤聖文・渡辺浩一「人命環境アーカイブズの過去・現在・未来に関する双方向的な研究」（小池淳一ほか編『新しい地域文化研究の可能性を求めて』1、人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」、2017年）、国文学研究資料館編『社会変容と民間アーカイブズ—地域の持続へ向けて—』（勉誠出版、2017年）ほか。
- \*5 同会の発足・活動については、桂まに子「戦後公共図書館史における三多摩郷土資料研究会の位置づけ」（『東京大学大学院教育学研究科紀要』48、2008年）参照。
- \*6 三多摩郷土資料研究会編『多摩地域郷土資料業務実態調査報告書 昭和64年4月現在』（三多摩郷土資料研究会、1986年）、同『多摩地域郷土資料・地域資料業務実態調査報告書 平成7年7月調査』（三多摩郷土資料研究会、1996年）、三多摩地域資料研究会編『多摩地区公立図書館地域資料業務実態調査報告書 平成17年7月調査』（三多摩地域資料研究会、2006年）、同編『多摩地区公立図書館地域資料業務実態調査報告書 平成27年7月調査』（同、2016年）。
- \*7 保坂一房『地域資料の収集と保存—たましん地域文化財団歴史資料室の場合—』（共同保存図書館・多摩、2009年）。
- \*8 NPO 法人共同保存図書館・多摩 ホームページ <https://www.tamadepo.org/index.html>（2019年3月1日閲覧、以下URLは同じ）、座間直壯「NPO 法人共同保存図書館・多摩の誕生と今後の展望」（『出版ニュース』2142、2008年）ほか参照。
- \*9 東京都ホームページ [http://www.soumu.metro.tokyo.jp/05gyousei/sinkou/tama\\_shinkouplan/tamaplan05.pdf#search=%27%E5%A4%9A%E6%91%A9+%E4%BA%BA%E5%8F%A3%27](http://www.soumu.metro.tokyo.jp/05gyousei/sinkou/tama_shinkouplan/tamaplan05.pdf#search=%27%E5%A4%9A%E6%91%A9+%E4%BA%BA%E5%8F%A3%27)。
- \*10 杉田博「自治体史編さんの歩みと史料保存—八王子市史編さんのスタートにあたって—」（『まちづくり研究はちおうじ』5、2008年）ほか。
- \*11 太田尚宏「民間アーカイブズの保全と地域連携—東京都多摩地域での取り組みを事例に—」（前掲、国文学研究資料館編『社会変容と民間アーカイブズ』）。

## プログラム

## ＜報告＞

## 多摩における資料保存と地域持続

宮間純一(中央大学准教授)

## 図書館における資料保存の取り組み

蛭田廣一(元小平市図書館館長)

## 西多摩郡檜原村における歴史資料保全と資源化の実践・課題

西村慎太郎(国文学研究資料館准教授)

## 洪水で被災した歴史資料を文化資源に

—2015年9月関東・東北豪雨—

添田仁(茨城大学准教授)

## ＜コメント＞

保坂一房(たましん地域文化財団歴史資料室室長)

## ＜質疑応答・討論＞

進行 清水裕介(渋沢史料館学芸員)

本シンポジウムでは、多摩地域における歴史資料の保存の過去を振り返り、現在を見つめなおし、未来を展望します。地域にのこる資料は、歴史研究のためだけではなく、人口減少や災害に直面する地域を持続してゆくためのかけがえのない財産です。本シンポジウムが多摩地域におけるよりよい資料保存・活用のための一助となれば幸いです。

＜主催＞「多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究—地域持続のために—」(公益財団法人とうきょう環境財団2018年度多摩川およびその流域の環境浄化に関する調査・試験研究助成金、代表者:宮間純一)

＜共催＞多摩信用金庫、公益財団法人たましん地域文化財団、国文学研究資料館 基幹研究「アーカイブズと地域持続に関する研究」

＜後援＞東京都三多摩公立博物館協議会、NPO法人共同保存図書館・多摩、茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク

＜お問い合わせ＞ [j-miyama@tamacc.chuo-u.ac.jp](mailto:j-miyama@tamacc.chuo-u.ac.jp) (宮間)

## ＜会場＞

Winセンター[たましん事業支援センター]  
(立川市曙町2丁目8-18)



JR立川駅北口より  
徒歩4分

2019.

3.10 日

13:30~16:30

定員 70名(申込不要・先着順)

入場無料



多摩川流域所在アーカイブズの情報集約・公開に関する調査・研究  
—地域持続のために—  
(研究助成・学術研究 VOL. 48—NO. 341)

著 者 宮間 純一  
発行日 2019年12月  
発行者 公益財団法人 東急財団  
〒 150-8511  
東京都渋谷区南平台町5番6号  
TEL (03) 3477-6301  
FAX (03) 3496-2965  
<http://foundation.tokyu.co.jp>